

# 2019年6月期 第2四半期 決算補足資料

2019.2.13

日本工営株式会社

IRに関するお問い合わせ：経営企画部 コーポレートコミュニケーション室 03-5276-2454

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

# 2019年6月期 第2四半期実績

コンサルタント国内が好調に推移し、売上高増収。  
営業利益はコンサルタント海外の大型案件開始時期遅れ等により赤字幅拡大。

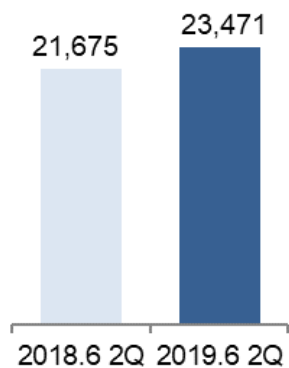
(単位:百万円)	2018.6期 第2四半期 実績	2019.6期 第2四半期 実績	前年同期比	
			増減	比率
受注高	47,832	47,707	△ 125	99.7%
売上高	31,233	39,146	7,912	125.3%
売上総利益	9,523	10,215	691	107.3%
営業利益	△ 2,597	△ 2,817	△ 219	—
経常利益	△ 2,344	△ 2,901	△ 557	—
親会社株主に 帰属する四半期純利益	△ 1,312	△ 2,331	△ 1,019	—

- 受注高は、コンサルタント海外事業、電力エンジニアリング事業が減少するも、コンサルタント国内事業、都市空間事業が好調に推移し、前期並み。
- 売上高は、コンサルタント国内事業の増収、進行基準案件の割合増により対前年同期比で増収。
- 営業利益は、コンサルタント国内事業が損失幅を縮小、電力エンジニアリングが増益となるも、その他事業の減益が影響し、対前年同期比で損失幅拡大。
- 四半期純利益は、不動産売却益の特別利益があった前年同期と比較し、減益。

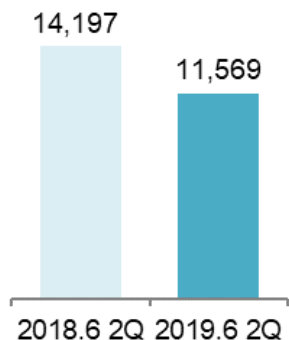
# セグメント別実績（受注高）

(単位:百万円)	2018.6期 第2四半期 実績	2019.6期 第2四半期 実績	前年同期比	
			増減	比率
<b>受注高</b>	<b>47,832</b>	<b>47,707</b>	<b>△ 125</b>	<b>99.7%</b>
コンサルタント国内	21,675	23,471	1,795	108.3%
コンサルタント海外	14,197	11,569	△ 2,627	81.5%
電力エンジニアリング	6,598	4,568	△ 2,030	69.2%
都市空間	5,356	7,824	2,467	146.1%
エネルギー	—	225	225	—

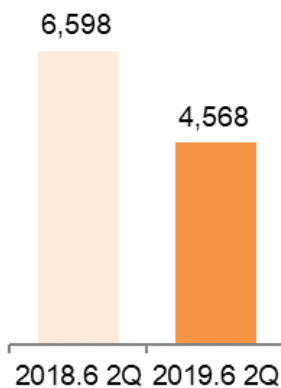
■コンサルタント国内



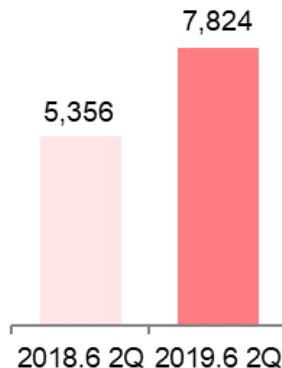
■コンサルタント海外



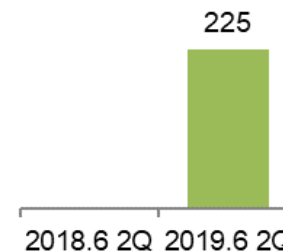
■電力エンジニアリング



■都市空間



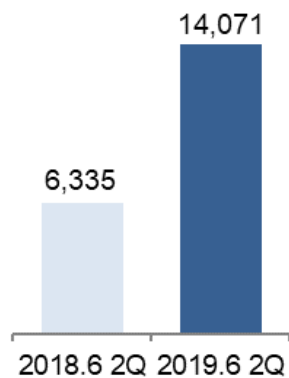
■エネルギー



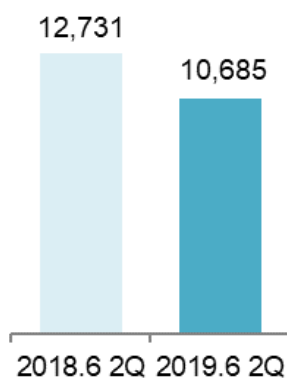
# セグメント別実績（売上高）

(単位:百万円)	2018.6期 第2四半期 実績	2019.6期 第2四半期 実績	前年同期比	
			増減	比率
売上高	31,233	39,146	7,912	125.3%
コンサルタント国内	6,335	14,071	7,736	222.1%
コンサルタント海外	12,731	10,685	△ 2,045	83.9%
電力エンジニアリング	5,608	6,718	1,110	119.8%
都市空間	6,209	6,761	551	108.9%
エネルギー	—	364	364	—
不動産他	349	543	194	155.8%

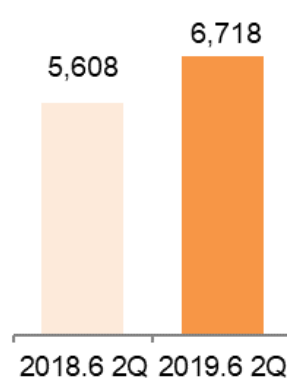
■コンサルタント国内



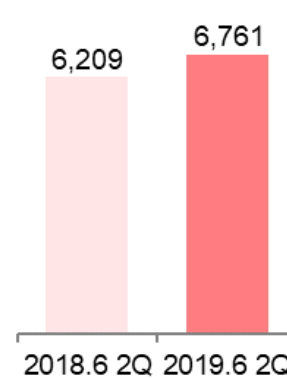
■コンサルタント海外



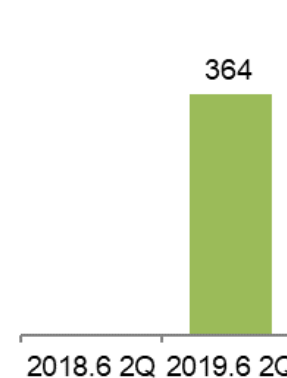
■電力エンジニアリング



■都市空間



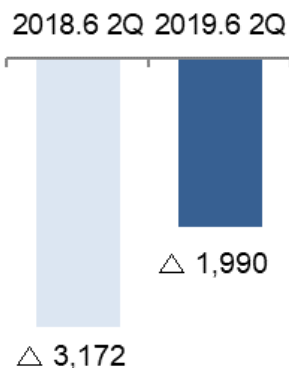
■エネルギー



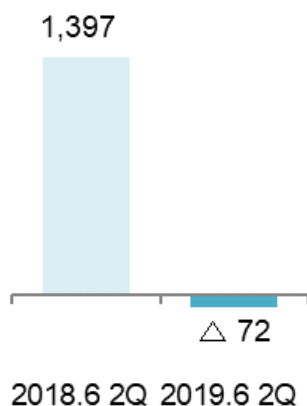
# セグメント別実績（営業利益）

(単位:百万円)	2018.6期 第2四半期 実績	2019.6期 第2四半期 実績	前年同期比	
			増減	比率
<b>営業利益</b>	<b>△ 2,597</b>	<b>△ 2,817</b>	<b>△ 219</b>	—
コンサルタント国内	△ 3,172	△ 1,990	1,182	—
コンサルタント海外	1,397	△ 72	△ 1,470	—
電力エンジニアリング	240	519	279	216.4%
都市空間	△ 10	△ 21	△ 11	—
エネルギー	—	△ 113	△ 113	—
不動産・全社	△ 1,053	△ 1,139	△ 86	—

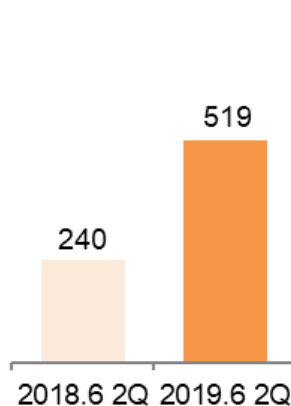
■コンサルタント国内



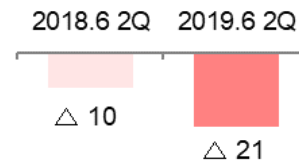
■コンサルタント海外



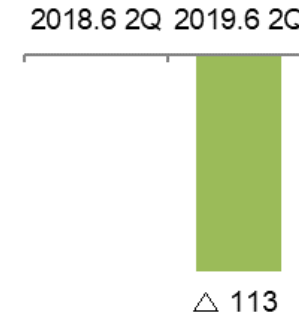
■電力エンジニアリング



■都市空間



■エネルギー



# セグメント別概況

## コンサルタント国内事業

- 受注高は、大型の自治体案件、民間案件の受注好調により前年同期を上回る。
- 売上高は、今期受注好調に加えて、進行基準案件の割合増に伴い、売上増。
- 営業利益は、売上高の増収に伴い、損失幅縮小。

## コンサルタント海外事業

- 受注高は、大型案件の受注期ずれおよびJICA案件の出件遅れ等により、前年同期を下回る。
- 売上高は、大型案件業務のフェーズの端境期、受注期ずれの影響を受け、前年同期比で減収。
- 営業利益は、売上高減収に加え、受注期ずれによる稼働率低下により赤字計上。

## 電力エンジニアリング事業

- 受注高は、前期大型案件の受注があった前期と比較し減少だが計画通りに進捗。
- 売上高は、前期までの豊富な手持ち受注を消化し増収。
- 営業利益は、売上増に伴い増益。

# セグメント別概況

## 都市空間事業

- 受注高はウエストミンスター関連の本格受注で好調。
- 売上高は、ウエストミンスター関連業務等が進捗し前期比増収。
- 営業利益は、人件費増等のコスト先行に伴い赤字拡大。

※ 2019年6月期第2四半期実績レート 1£=144.61円（2019年6月期計画レート 1£=149.17円）

※ 都市空間事業の2019年6月期償却費は約10億円(のれん:約4億円、その他無形固定資産:約5億円)です。

## エネルギー事業

- 受注高は、再生可能エネルギー(太陽光)モニタリングサービス受注等が進捗。
- 売上高は、モニタリングサービス、国内発電事業の売電売上を計上。
- 営業利益は、海外エネルギーマネジメント事業の先行費用により赤字。

# 2019年6月期 見通し

2019年6月期の通期見通しに変更なし。

(単位:百万円)	2018.6期実績	2019.6期計画	前期増減	前期比率
<b>受注高</b>	104,350	<b>125,000</b>	20,649	119.8%
- コンサルタント国内	48,529	<b>46,000</b>	△ 2,529	94.8%
- コンサルタント海外	26,716	<b>44,000</b>	17,283	164.7%
- 電力エンジニアリング	15,943	<b>14,000</b>	△ 1,943	87.8%
- 都市空間	12,855	<b>16,000</b>	3,144	124.5%
- エネルギー	179	<b>4,000</b>	3,820	2,228.6%
<b>売上高</b>	106,023	<b>115,000</b>	8,976	108.5%
- コンサルタント国内	46,595	<b>44,000</b>	△ 2,595	94.4%
- コンサルタント海外	28,889	<b>31,000</b>	2,110	107.3%
- 電力エンジニアリング	15,762	<b>20,000</b>	4,237	126.9%
- 都市空間	13,040	<b>16,500</b>	3,459	126.5%
- エネルギー	354	<b>2,500</b>	2,145	704.6%
- 不動産他	1,381	<b>1,000</b>	△ 381	72.4%
<b>営業利益</b>	6,561	<b>6,200</b>	△ 361	94.5%
- コンサルタント国内	4,279	<b>3,500</b>	△ 779	81.8%
- コンサルタント海外	2,649	<b>2,400</b>	△ 249	90.6%
- 電力エンジニアリング	1,873	<b>2,600</b>	726	138.8%
- 都市空間	173	<b>600</b>	426	345.2%
- エネルギー	△ 18	<b>△ 100</b>	△ 81	-
- 不動産・本社	△ 2,396	<b>△ 2,800</b>	△ 403	-
<b>経常利益</b>	6,721	<b>6,100</b>	△ 621	90.8%
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	4,555	<b>4,100</b>	△ 455	90.0%
<b>営業利益率(%)</b>	6.2	<b>5.4</b>		
<b>ROE(%)</b>	8.1	<b>6.9</b>		